

丹波篠山市入札監視委員会議事録概要書
（令和 4 年度 第 1 回）

開催日	令和 4 年 7 月 26 日（火）	
開催場所	丹波篠山市役所本庁舎 3 階 301 会議室	
出席委員	委員長 東 泰弘 委員 澤 雅史、澤 大輔、酒井扶美、大槻智美	
前回審議事案の継続審議	指名競争入札 1 件（上下水道部 1 件）	
審議対象期間	令和 3 年 10 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日	
抽出案件	総件数 5 件	（備考） 市長部局 一般競争入札 2 件 指名競争入札 1 件 教育委員会部局 随意契約 1 件 上下水道部局 一般競争入札 1 件
一般競争入札	3 件	
指名競争入札	1 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福住浄水場急速ろ過機用ヘッドタンク取替修繕工事の指名業者は、現場を熟知している業者を選定する必要があったのか。 2. 旧兵庫県篠山庁舎機械棟解体撤去工事の入札結果で、最高入札価格と最低入札価格の差が大きい理由は何か。 3. 旧兵庫県篠山庁舎機械棟解体撤去工事の入札公告で、スクラップ控除の記載の有無は、市の判断で問題ないか。 4. 農道橋（古森）橋梁補修工事の失格者が多いが、入札方法や設計積算に問題はなかったか。 5. 丹南処理区統廃合マンホールポンプ整備工事の入札で、工事とメンテナンスを一体とした入札はできないか。 6. 市道西野々立金線ほか舗装修繕工事の最低制限価格と応札額の差が 2 千円差で失格だが、制度上やむなしか。 7. 小型貫流蒸気ボイラー1 基更新工事の落札率が低い理由は何か。 8. 小型貫流蒸気ボイラー1 基更新工事において、機器故障前に入札を行えば他の業者での履行が可能と考えるかどうか。 	

<p>委員からの意見・質問に対する回答</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当案件は、ろ過機を停止させることで断水の危険性が伴うため、迅速に対応できるよう現場を熟知した業者を選定した。 2. 解体工事では、解体処分費を自社施工したか外注か、建設副産物を有価物としたか処分したか等により入札価格に差が生じる。 3. 当案件の解体建物が鉄筋コンクリート造で有価物としての処理は難しいと判断し、スクラップ控除の記載を無とした。 4. 予定価格や最低制限価格と入札額に大きな差はない。当案件では最低制限価格を狙った結果、最低制限価格付近で失格になったと考える。 5. 入札しているが、メンテナンスについても競争性を担保した発注方法について意見を参考に検討する。 6. 最低制限価格未満の応札は失格としている。 7. 機器の設計価格に対して価格交渉により仕入価格が引き下げられたものとする。また、企業努力により、低い落札率となった。 8. 当案件は、緊急に修理しなければならない状況であったので、随意契約としたが、基本的には、入札対応としている。
<p>委員会による意見具申又は勧告の内容</p>	<p>抽出案件については、すべて適切に執行されている。</p>